

はらんべえ・れお 24 号

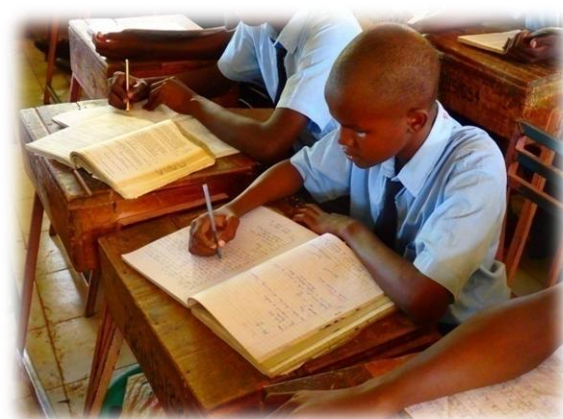
突撃！隣の奨学生！！ ～ケビン君を訪ねて～

日頃より KESTES への温かなご支援ありがとうございます。新しく KESTES に加入した 2016 年度 4 次隊の金子です。職種はマーケティングです。

5 月に奨学生のケビン君が通う Orero Secondary School を訪問しました。初めてということもあり、二名の先輩隊員と一緒に訪ねてきました。訪問した日がテスト直前という忙しいタイミングであったにも関わらず、ケビン君は積極的に学校内を案内してくれました。

学校施設は綺麗で、教室や理科実験室には必要なものが揃っており、適切な教育を受けるための環境が整っている印象を受けました。グラウンドを案内してもらった際には、「放課後はここで友人とサッカーを楽しんでいます。」と楽しそうに教えてくれました。ここケニアでも、日本と同じような学生生活が送られていることを目の当たりにし、ふと自分の高校時代を思い出しました。

将来、医者になりたいケビン君ですが、現在、理系科目に苦戦しています。前回課題であった、数学（前回 D+）と化学（前回 D+）はそれぞれ D-と D+でした。一方で農業では A を獲得しており、不得意の数学をカバーして今回の総合評価 C+を維持できているように見受けられます。ケビン君の Term3 の目標は総合成績で A-を取るそうです。なかなか難しい目標ですが、「大学で薬学を学びたい、将来は医者になりたい」と強く夢を語る姿から、十分なやる気を感じられました。また、大学進学後は日本への留学にも興味があるようです。現在は日本との交換留学制度を持っている大学を調べて将来に備えています。来年の 11 月には統一試験である KCSE の受験を控えており、ここを 1 つのゴールに現在勉強に励んでいます。



今回、「医者になりたい！薬学を学びたい！」と熱く夢を語るケビン君と話したことで、私自身も「自分は 5 年後どうしたいか、10 年後どうしたいか」といった目標を考えるきっかけになりました。今まで教育現場に関わることがなかったため、奨学生をサポートしていく中で、いろいろ問題に直面することはあると思いますが、一生懸命頑張る Kevin 君に負けないよう、自分も KESTES 活動、およびケニアでのマーケティング活動に全力投入しようと思います！

（2016 年度 4 次隊 金子浩士）

2017 年度第二回 KESTES 総会を終えて

今回の総会はケニア国内総選挙に伴うナイロビ研修期間中の 8 月 12 日に行われました。新しく KESTES に加入した新隊次の 6 名を含む 23 名が顔を合わせ、奨学生の近況報告、奨学金の予算確保案などについて話し合いました。奨学生担当者からは奨学生を訪問した時の様子や苦手科目で苦労していること、担当者に徐々に心を開いてきた様子などが報告されました。また、KESTES の予算確保案に関して、物販班や広報班から新しい提案がありました。常に資金難と向き合う KESTES にとって予算確保は火急の課題です。どうすればきちんと生徒を支援しつつ財源が確保できるのか、みんなで知恵を出し合いました。解決しなければならない課題は山積みですが、支援をして下さるサポーターの皆様お一人お一人の想いを胸に、KESTES 委員一同は奨学生達を応援し続けたいと思います。

(平成 28 年度 1 次隊 総務班 安藤 洋之)



☆奨学生なう☆

ケニアの学校では Term3、日本の学校でいうところの 3 学期が始まっています。前学期の Term2 では奨学生の皆さんはしっかりと成果を残せたでしょうか！？気になる Term2 の成績をご報告します！

奨学生名	学年	成績 (前回 ⇒ 今回)	校内順位 (前回 ⇒ 今回) クラス順位 (前回 ⇒ 今回)
ローズ・マイナ	1	B- ⇒ C	190 位 / 382 人 ⇒ 213 位 / 382 人中 24 位 / 55 人 ⇒ 24 位 / 55 人中
オニヤンゴ・ジェミマ	2	C+ ⇒ C	137 位 / 425 人 ⇒ 173 位 / 418 人中 23 位 / 71 人 ⇒ 38 位 / 70 人中
ロナルド・カシオカ	2	C- ⇒ C-	12 位 / 81 人中 ⇒ 12 位 / 77 人中 7 位 ⇒ 8 位
ケビン・マイナ	3	C+ ⇒ C+	166 位 / 294 人 ⇒ - 位 / - 人中 (※) 28 位 / 59 人 ⇒ - 位 / - 人中
サイラス・ムワニア	3	B ⇒ B-	4 位 / 67 人中 ⇒ 3 位 / 69 人中 4 位 / 67 人中 ⇒ 3 位 / 69 人中
オンディエック・ラウィ	4	B- ⇒ B-	26 位 / 179 人 ⇒ 35 位 / 179 人中 6 位 / 43 人 ⇒ 7 位 / 43 人中
マーガレット・ネーマ	4	B- ⇒ B	21 位 / 341 人中 ⇒ 18 位 / 341 人中 4 位 / 66 人 ⇒ 5 位 / 66 人中

※ケビン・マイナ君の順位については現在確認中のため、次号（25号）のはれんべえ・れおにて順位をご報告いたします。

生物や歴史といった得意科目は高得点を維持している一方で不得意科目については点数が落ちてしまったローズ。ただまだ始まったばかり！コツコツがんばろう！！



ローズ・マイナ



オニョゴ・ゼマ

得意教科は伸びたものの、試験期間中にマラリアになってしまい悔しい結果に。苦手教科を無くすため「毎日 全教科少しずつ取り組みたい」と term 3 への意欲を見せています！

カシオカ君はネフローゼ症候群。薬の影響か頭痛に悩まされたTerm2でした。来学期は体調を整えて頑張るって!!!



ロナルド・カシカ



ケビン・マイナ

苦手な数学は徐々に内容が難しくなっており、授業についていくのが必死とのこと。どうにか持ちこたえて、Term3で挽回してほしいところです！



サイラス・ムウィナ

Gradeは下がったけど、英語はC+からBへ成績アップ、ビジネスはB+学年1位に！Term3は物理・化学・歴史をがんばるとのこと☆



オンディエック・ラウィ

得意教科は高得点を維持しつつ、伸び悩んでいた数学がC⇒B-に。地道に自習を続けてきた結果がでてきたようです。「KCSEで結果を出すよ」と本人も意気込んで頑張っています。



マーガレット・ネマ

クラス順位は下がったものの、全体成績と学年順位は上がったので、KCSEに向けて今後も勉強を頑張りたいです！

ケニア日本人会懇親会に参加しました！

去る5月21日、ケニア日本人会懇親会に KESTES から5人のメンバーが参加して参りました。普段の任地では味わえない美味しい食事を楽しみながら参加者同士お互いに交流を深めました。日本人会の各クラブ活動の紹介があったりラッフルがあったりなど、大変盛り上がった懇親会でした。KESTES は会場の一部をお借りして、活動のご紹介やグッズの販売などを行いました。グッズの売れ行きも上々で、新たにご支援頂けるサポーター様にも出会うことが出来ました。ケニアの治安は未だ良いとは言えず、邦人を狙った犯罪に対する安全確保の観点から、今回のように多くの日本人の方々の前で活動をアピールしたり、グッズの販売をするための機会は減ってきています。数少ない機会を逃さず、きちんと活かせるように取り組んでいくのが今後の私達の課題の一つです。



(2016 年度 3 次隊 広報班 伏見秀明)

卒業生ファトゥマ・モシンさんインタビュー

ファトゥマさんはモンバサというケニア第 2 の都市にある Memon High School に通い、2013 年 9 月から KESTES が支援を開始、昨年無事卒業しました。モンバサは治安上の理由から青年海外協力隊員は行くことの出来ない地域なので、担当者とのやりとりも文通でした。そんな彼女が今回、文通を通してのインタビューに答えてくれました！



KCSE の結果を受けて自分ではどう評価していますか？

自身としてはたくさん努力しましたし、KESTES には最後までご支援いただいたので、結果に対してものすごく喜んでます。本当にありがとうございました。心の底からこの感謝の気持ちをお伝えしたいです。

高校 4 年間で一番の思い出は何ですか？

私の学校での一番の思い出は、科学大会に参加した時のことです。何と、そこで 3 位に入賞したんです！

卒業後の進路と近況について

今のところ私は、今後も勉学を続けていくことが出来ればと思っていて、ナイロビ大学のモンバサキャンパスから合格通知が届いています。学位としては商学の取得を目指していて、その後母や妹たちを助けていければと考えています。一番不安に思っていることは、ケニアの文化ではこれまでずっと女生徒に対する教育にあまり力が入れられてきていないことです。もし私が進学せずに家にいるようなことになっていけば、私は若い年齢で結婚することを強いられていたでしょうし、それが私と私の母の望むところとなってしまうことでしょう。

母親からファトゥマについて

娘には勉強を続けて欲しいです。私は自分の道を最後まで歩くことができなかったのも、娘には同じようになって欲しくないのです。私の家族だけでなく他の家庭の女の子たちにも、私が支えるために何か出来ないかと思っており、KESTES に少しでもサポートをしていただくことで、少しでも私の目標が達成に近付ければ非常に嬉しいです。

最後にファトゥマさんより

サポートをしていただき、本当にどうもありがとうございました。心より感謝しています。

担当隊員からのコメント

ファトゥマは本当に努力家の生徒です。最初に面談をした担当者が「今学期、総合B+以上の成績を取ったら KESTES に推薦する」と約束したところ、三か月後、2科目を除く全科目でオールAを取り、総合A-という見事な成績を収めてきたファトゥマ。最後のKCSEのテストも周りの平均点が低い中、B+という成績を収め、得意のアラビア語だけでなく、苦手教科の数学も成績を伸ばしてきました。目標に向けて努力を惜しまないファトゥマだからこそ出せた結果だと思います。ファトゥマは、モンバサに住んでいるため、私は会うことができなかったのですが、文通をしてコミュニケーションを図りました。お互いの夢について、手紙を通して語った時間は、私にとっても大切な思い出です。

新しい生活が始まりますが、ファトゥマだったらどんなことも乗り越えていけると信じています。楽しいことだけでなく、苦しいこともたくさんあるかもしれないけど、そんな時は、今まで頑張ったことや家族のことを思い出してください。ファトゥマの夢が実現することを祈っています。頑張れ！ファトゥマ！

(平成 27 年度 2 次隊 斉藤晴美)

KWAHERINI! KESTES 卒業隊員

※KWAHERINI…『クワヘリーニ』スワヒリ語で

「さようなら」の意

KESTES を卒業するのは奨学生だけではありません。私たち隊員も 2 年の任期が終了すると同時に KESTES を卒業して日本へ帰国します。2017 年 9 月には KESTES 隊員のうち日置隊員・小池隊員・斉藤隊員・金清隊員の 4 名がケニアを離れます。過去には委員長も務めた日置隊員に、これまでの KESTES の活動について筆者との対談形式にて語ってもらいました。

——KESTES ご卒業おめでとうございます。
ありがとうございます。

——KESTES での経歴を簡単にお願ひします。

私は 2015 年の 10 月に KESTES に入りました。赴任した頃の頃、先輩方の活動の様子に心を動かされてすぐに KESTES の活動に参加しようと決めました。活動内容としては、奨学生のラウィ君を担当したり、KESTES 委員長を務めたりしました。

——僕が入会した当時はまだ日置さんが委員長でしたね。委員長という役割は責任も大きいですし、大変だったことでしょう。

そうですね、振り返ると大変なこともありましたが（笑）入会当初はケニアの教育事情も KESTES のことも分からないことばかりで、総会の中ではメンバーの白熱した議論に「？」マークが浮かぶことが多々ありました。正直、その後自分が委員長になるなど想像もしていなかったですね（笑）お陰さまで、みんなのサポートがあり何とかやり遂げることができました。委員長としての仕事では、JICA 基金という助成金の申請に携わったことが貴重な経験となりました。これまで日本でもこのような公的基金に携わる経験がなかったので、苦労しましたが色々学ぶ機会となりましたね。

——お金に関する業務は通常会計担当が行いますが、別の側面での委員長ならではの責任のある業務ですね。

日置さんは奨学生ラウイ君の担当でしたが、特に思い出に残るエピソードについて教えてください。

ラウィ君はシャイな子だと前任の担当から聞いていたのですが、はじめは確かに照れ屋さんでしたね。それが、接していくうちに段々と心を開いてくれるように

なって、今では彼の方からもたくさんおしゃべりしてくれ
ます。一度私の任地までマツ（※ケニアのバ
ス）に乗って来てくれたこともあるんですよ！彼のお
母さんのようにといったら大袈裟ですけど、身近で彼
の成長を見守ることができたのは、嬉しい限りです。
それこそ Face to Face の支援を行っている
KESTES の醍醐味でもありますよね。特に忘れられ
ないのが、彼が自分の夢を語ってくれた時のこと
です。彼は現在 4 年生なので卒業後の進路について
話していたら、医者になるために奨学金で日本の大
学に留学したいと言ったんです。その理由について、
「日本がどんな国なのか見てみたいし、そうしたらリカ
やタカ、ヒロ（ラウィ君の前担当者）にも会いに行
けるでしょ？」て。

——良い子ですね。

私は、「じゃあ将来は立派になって日本に来たら私の世話してね。」って(笑)

——ははは、日置さんらしい返し方です(笑)

そこから日本への留学を具体的な目標にして頑張るようになりました。奨学金で海外に留学するのは、正直狭き門ではありますが、彼なりのベストを尽くしてほしいです。残念ながら私はラウィ君の卒業を見届けることはできませんが、頼もしい後任の八尋隊員に引き続きサポートしてもらいたいと思います。

——実際に途上国の生徒と接して、日置さんの生徒に対する考え方の変化はありましたか？

うーん、そうですね、、、考え方が変わったという
か、やはりリアルな姿を見ることができましたね。

——具体的には？

私はケニアに来て KESTES の活動に関わるまで、途上国の生徒たちの実態についてはほとんど知りませ

奨学生からの忘れられない言葉
「僕が日本に留学したら、リカが帰つてもに会いに行けるでしょ？」

んでした。でも、ケニアに来てから分かったことがたくさんあります。まず、セコンダリースクール（高校）の年間授業料が高く、現地の人の一般的な給与と比較してみてもその数カ月分にもなり、学費が家計を圧迫しているということ。特に低所得の家庭では子供を学校に通わせるために必死に金策をしているという話をよく耳にします。それに、通学できても自宅にはまともな学習環境がなく、夜は皆が寝静まってから懐中電灯を片手に勉強し、朝は夜明け前に起きて学校に通う子供たちがいることを知りました。

——なるほど、そういう姿を目の当たりにする私たちだからこそ、KESTES の活動を続けていこうという気持ちに繋がるのですね。

そうですね、やはり教育こそがこの国の発展につながるものだと感じますね。それに、KESTES の活動を続けてこられたのは、やはり周りのメンバーに支えられてきたのも大きいです。KESTES には頼れる仲間もたくさんいるので、しんどい時や悩んだ時に相談して気持ちが楽になることは多々ありましたね。今回の総会でもそうでしたけど、今の KESTES は先輩も後輩もお互いを尊重しつつ、率直に意見を出し合える環境かと思います。今後もそういう雰囲気を大切にしていってほしいですね。

——わかりました、大切にしていきたいと思います。ところで、帰国後 KESTES とはどう関わっていきますか？

関わる前提の質問ですね(笑) 具体的にどのように関わっていくとは明言できないのですが、KESTES 日本窓口や OB・OG の方々と一緒に、今後も KESTES の活動を見守り、でき得る限りの支援をしていきたいです。私の経験が活かせるようであればいつでも相談してください。Facebook も、こまめにチェックしますね！(笑)

——それは心強いですね！ありがとうございます。

それでは最後に、活動を常に支えて下さっているサポーターの皆様一言お願いします。

KESTES の活動は皆様のご理解とご支援により支えられています。一人でも多くの子供たちに教育の機会を与えられるよう、今後も新体制で活動をしていきます。今後も温かいご支援をよろしくお願い致します。

——ありがとうございました。

ありがとうございました。

(2016 年度 3 次隊 広報班 伏見秀明)



最前列左より高橋副委員長、小池隊員、金清隊員、
斉藤隊員、日置隊員、坂尾委員長



【大盛況！】日本人会ふれあい祭りに出店しました！

9 月 16 日に日本人会主催の日本人会ふれあい祭りが晴天の下に開催されました。このイベントは約 20 もの団体が参加するケニア日本人会最大のイベントで、KESTES も毎年出店させて頂いています。参加したメンバーは全員 KESTES オリジナル T シャツを着て、気合を入れて臨みました。メインステージでは日本人学校の子どもたちによるパフォーマンスやのど自慢大会が行われ、各ブースでは趣向を凝らしたオリジナル商品やケニアではなかなか食べられない日本食の販売等があり、終日大盛況でした。



私たち KESTES は今回いくつかの新商品を販売しました。カエンボクという花木の落とすハート型の種から作った幸福のお守り、新デザインのキコイバッグと T シャツです。いずれも参加者の方々にご好評をいただきました。また、「ピンポン玉シューティングゲーム」もお子様たちに大変喜ばれました。おかげさまで 6 万 Ksh（約 6 万円）以上の売り上げを達成することができました。私自身、ケニアに赴任してから日本の方々のイベントに参加したのは初めてで、金額以上に、日本の絆を強く感じた一日となりました。最後に、今年もふれあい祭りを企画開催して下さいました日本人会幹事の皆様に、この場を借りてお礼申し上げます。

（2016 年度 4 次隊 物販班 山崎一威）

企業サポーター様のご紹介 ～ETA 株式会社様～

サポーター各位におかれましては、日々 KESTES の活動にご理解とご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。皆さまの温かいご支援により、教育の機会に恵まれなかったかもしれない生徒が今日もセコンダリースクールに通うことができ、自分たちの将来の夢を叶える為に一步步前に進んでいます。さて、2017 年 6 月より新たに ETA 株式会社様に企業サポーターにご加入頂いております！今回のほらんべえ・れおでは、ETA 株式会社の渋井様からお話を伺いましたのでご紹介いたします。

御社の概要について教えていただけますか？

環境、水、農業、再生可能エネルギー及び政策に関する調査・コンサルティング・事業開発をしています。

KESTESを支援することになったきっかけは何でしょうか？

歴代の在ケニア青年海外協力隊員が KESTES の活動を行っている姿が輝かしかったことと、ケニアの子どもたちが KESTES の奨学金で学校に通い立派な大人になっていく過程を継続的に支援したいと思ったためです。

KESTESに期待されることは何でしょうか？

KESTES 事業を運営されている皆様におかれましては青年海外協力隊員としての本業を全うしつつ安全・健康第一で活動され、特定の地域・家庭に支援が偏ることなく、より多くの子供たちに希望と機会を提供して頂ければと思っています。また奨学生は勉学に励み健やかな生活を送り、大人になったときに自分を支えてくれた家族や社会へ何かを還元できるような気持ちを持って KESTES の支援を受けて貰えればこの上ないと感じています。

渋井様、どうもありがとうございました。サポータ様のご厚意や熱意と学生の夢が繋がるための架け橋となるべく、KESTES は今後も活動に邁進して参ります！



新しいデザインの T シャツを 9 月から販売しています！

サイズは S、M、L でカラーは白、黄、グレーの 3 色で、価格は 1,200Ksh となります。

デザインのテーマは『ブレイメン音楽隊 in ケニア』。ケニアに住む動物たちが力を合わせて前に進む様子をデザインしています。おすすめのカラーは白！白だけホロホロドリがピンク色でアクセントになっています。

また、新バックも 1,500Ksh で販売を開始しました。中綿入りのソフトな手触りで、優しいパステルカラーのキコイ布柄がオススメです。なお、いずれの商品も 1 つ買っていただくと、約 700Ksh が奨学生に寄付されますので、是非ご協力をお願いします。

(2016 年度 3 次隊 物販班 高橋真大)



KESTES は以下の企業のサポートを受けています。

いつもご支援ありがとうございます。



CONSULT, INNOVATE, IMPLEMENT



Mitsubishi Motors Corporation

-Nairobi Liaison Office-

<http://www.mitsubishi-motors.com/jp>



<http://delights.jp>

Delights

<http://delights.jp/www/company.php>

ケニア旅行や出張に
**運転手つき
レンタカー**



EXCIA East Africa, Ltd.

詳しくはこちら ▶

**EXCIA East
Africa, Ltd.**

<http://exciacarhires.com/>



CHEKA JAPANESE IZAKAYA

<http://horientertainment.wix.com/cheka>



「はらんべえ・れお掲示板」をご活用下さい！

サポーター様の間で共有したい情報、お知らせ、募集等がありましたら、KESTES までご連絡下さい。はらんべえ・れおにて掲示板を掲載いたします。是非ご活用下さい！はらんべえ・れおは年 3 回の発行ですので急案件の告知には向きませんが・・・サポーター様各位とケニア中に散らばる KESTES 委員による、強力な情報ネットワークの架け橋となりますよ！「ケニアに旅行に行きたいけど、現地に住む人たちの生のおススメ情報が聞きたいなあ。」「スワヒリ語に興味があるんだけど、誰か教えてくれそうな人はいないかなあ。」などなど！お問い合わせは下記右下にある代表アドレス、または KESTES 広報班アドレス (kestes.kouhou@gmail.com) までお願い致します。

KESTES 新メンバーのご紹介

総務班

首藤 晃一(2016 年度 4 次隊)

金子 浩士(2016 年度 4 次隊)

会計班

友永 達朗(2016 年度 4 次隊)

鈴木 由美(2016 年度 4 次隊)

物販班

山崎 一威(2016 年度 4 次隊)

広報班

高橋 睦美(2016 年度 4 次隊)

編集後記

チーム 2 期間中の出来事。寮で暮らす KESTES 奨学生的一名が、盗難事件に遭ってしまったそうです。途上国であるケニアでは、残念ながらこのような出来事がたまに起こってしまうのもまた現実です。ケニアの未来を担う子供たちに、二度とこのような悲しいことが起こらない事を願います。

文責

2016 年度 3 次隊 伏見 秀明

KESTES 委員 25 名

奨学生 7 名(2017 年 8 月現在)

**Kenya Students' Educational
Scholarship
Website**

<https://jocvkestestop.wordpress.com/>

問合せ先:

kesteskenya@gmail.com

**KENYA
STUDENTS'
EDUCATIONAL
SCHOLARSHIP**
run by Japan Overseas Cooperation Volunteers